

「防災の日」に、備えを"仕組み化"する — *Be-kan*の視点

毎年9月1日は「防災の日」。1923年9月1日の関東大震災と、台風被害が多いとされる"二百十日"の戒めを踏まえ、1960年に制定された日です。死者・行方不明者が約10万5千人に及んだ未曾有の災害の教訓を、今年の自社の行動へと確実に接続していきましょう。([気象庁データ](#), [東京都交通局](#))

また、9月1日を含む8月30日～9月5日の1週間は「防災週間」。単発の啓発で終わらせず、年に一度の"総点検と更新"のサイクルを企業に根づかせる絶好の期間です。([東京都交通局](#), [ウィキペディア](#))

無料在庫診断を申し込む

詳細を見る



なぜ今、企業は「防災の日」を活用すべきか



防災やBCPは"重要だが緊急ではない"領域ゆえ、日常業務の中で後回しになりがちです。「防災の日／週間」を"全社キック"として位置づけ、訓練・備蓄・体制・調達の四点を毎年アップデートすることで、備えは"イベント"から**"仕組み"**へと変わります。

□ 本稿は、企業が「防災の日」をきっかけに取り組むべきポイントを再構成したBe-kan視点のガイドです。

Be-kanが勧める「防災の日」アクション7選

1

90分で刷新：トップメッセージ+BCP/防災マニュアル改訂

- 直近の災害教訓や組織変更、拠点増減、テレワーク比率の変化を反映。
- 重要ページ（初動、安否、停電・断水、帰宅困難、情報発信）を"1枚サマリー"化し、配布&掲示。
- Be-kanはBCPテンプレ雛形と部門別チェックリストをご用意。

（背景：関東大震災・伊勢湾台風は制度整備の契機となりました。歴史的被害の要因分析は、最新BCPに落とし込むべきベースです。）（[防災ポータル](#), [気象庁データ](#)）

2

安否確認"多系統化"ドリル（在宅・出張者を含む）

- メール／アプリ／電話連絡網に加え、停電・通信障害を想定した代替手段（衛星電話、無線、掲示板）を含めて訓練。
- 収集→集計→意思決定（参集/待機/在宅）のSLAを明確化。
- 訓練後は"未返信・遅延の要因"を潰す運用改善会を即日実施。

（安否訓練は、防災週間をトリガーに毎年の運用成熟度を高めるのが効果的です。）（[キキタイムガジン- 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア](#)）

3

避難・初期消火+MR/VR"体験"訓練の組み合わせ

- 平面図だけでなく、現場で身体を動かす／火気操作を伴う演習を。
- Be-kanはMR/VR訓練の導入設計も支援。まずVRで疑似体験→実空間でMR重畳の順序が理解の定着に有効です。
- 消火設備の点検・取り扱い確認を"訓練の一部"として必ず同時実施。

（形式的な訓練から"実装型訓練"へ。企業の行動力を底上げします。）（[キキタイムガジン- 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア](#)）

1

災害図上訓練（DIG）／避難所運営ゲーム（HUG）で"想像力"を鍛える

- 地図とシナリオを用い、想定外に対処する意思決定を演習。
- 事業所が一時避難場所となるケースも想定し、衛生・トイレ・要配慮者対応まで運営手順を実地で検討。

（図上・運営訓練は、従来の避難訓練では得にくい"気づき"を与えます。）（[キキタイムガジン- 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア](#)）

2

備蓄"実査"&期限管理DX：数量・場所・更新の見える化

- 人数×72時間を基本に、停電・断水長期化シナリオで上積み。
- 重点：非常用電源（発電機・蓄電池・燃料）、簡易トイレ／衛生、感染症対策、アレルギー対応食。
- Be-kanの備蓄品管理BPOと期限管理DXで、在庫・期限・ロケーションを一元管理。更新時は寄付・フードロス削減スキームにも接続可能。

（長期停電や上下水停止を前提とした見直しが近年は重要です。）（[キキタイムガジン- 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア](#)）

3

"ブラックアウト&断水"半日シミュレーション

- 実際にフロアの一部を計画停電モードにし、ノートPC稼働時間、充電回転、紙運用、発電機騒音・排気、換気、熱中症リスク、トイレ動線などを検証。
- 拠点ごとに"最低限業務"の定義と、計測値（何時間持つか／何リットル必要か）を残す。

（二百十日前後は台風シーズン。停電・浸水複合リスクの"体感"検証が有効です。）（[tenki.jp](#)）

4

調達物の"仕組み化"：共同購買／リース化でCapEx→OpExへ

- まとめ買い・共同購買で単価最適化、リース活用でキャッシュ負担平準化。
- 年次の"防災更新予算"を固定費化し、想定外の一括出費を防止。
- Be-kanは共同購買プラットフォーム構想や導入時リースの手配まで一気通貫で支援します。



備蓄の見直しポイント（今年版・抜粋）

電源多層化

発電機／蓄電池／モバイル電源の役割分担。可搬・換気・燃料保管の要件整理。
(キキタイマガジン - 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア)

水・衛生の持久戦

簡易トイレは人数×回数×日数で上積み。手指衛生・拭き取り清掃のセット化。
(キキタイマガジン - 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア)

情報の冗長化

ラジオ、ポータブル中継、紙掲示物テンプレ。

食の多様性

アレルギー／宗教配慮／高齢者・乳幼児対応。

倉庫のアクセス性

誰でも開けられる運用（鍵・カード・暗証）と棚番表示。

期限管理

更新月の自動リマインドと寄付ルートの事前確保（フードロス削減）。

今日からできる"5分アクション"



全社員へトップメッセージ（防災週間の目的と今年の重点）を発信。

緊急連絡カードの最新化（私物スマホ番号・家族連絡先・集合場所）。

フロアの消火器・AED・非常口の位置を再周知（1枚地図）。

備蓄庫の場所・鍵・担当を掲示／Slack固定メッセージ化。

今月1件の訓練（安否／避難／図上／停電）を決め、社内カレンダー登録。

Be-kanのご支援メニュー（抜粋）



備蓄品コンサル＋在庫診断

在庫目安表・数量試算・推奨SKUリスト



期限管理*DX／BPO*

在庫・期限・ロケーションの一元管理、更新・寄付まで代行



*MR/VR*訓練の導入設計

導線・視界・避難行動の"体験化"



共同購買・リース導入

CapEx→OpEx最適化



社内啓発パック

ポスター、1枚サマリー、掲示ツール、5分動画

まずは「5分で分かる在庫診断（無料）」から。今年の"総点検"を、仕組みの更新日へ。社名・部署・拠点人数・特殊要件（アレルギー、要配慮者、停電想定時間）だけで可。

無料在庫診断を申し込む

参考（由来・基礎情報）



- 「防災の日」「防災週間」「二百十日」の解説（東京消防庁）。([東京都交通局](#))
- 関東大震災の被害規模（気象庁・内閣府）。([気象庁データ](#), [防災ポータル](#))
- 伊勢湾台風がもたらした被害と政策的転機（内閣府）。([防災ポータル](#))
- 企業が「防災の日」に取り組む具体例（原典記事の要点を再構成）。([キキタイマガジン - 防災士全面監修の企業向け防災・BCP情報メディア](#))

続けられる備えを仕組みで実現

Be-kanは「備蓄品DX＋防災訓練＋期限管理＋寄付/フードロス削減」を統合し、"続けられる備え"を仕組みで実現します。社内の"今年のアップデート"と一緒に設計しましょう。

お問い合わせ

サービス詳細

